

月例大会要項(日曜杯・平日杯)

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とローカルルール、競技の条件を適用する。

本書に記載のない事項や追加変更がある場合は競技会場で掲示物に掲載されるので必ず参考にするこ

と。ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除きこのローカルルール競技の条件の違反の罰は「一般の罰 2 罰打」となる。

競技方法

18 ホールストロークプレーアンダーハンデキャップ競技

使用ティーマーカー

男子レギュラーティー(青)【*クラス分け大会 A クラス・バックティー(黒)】

女子フロントティー (白)【*クラス分け大会 A クラス・レギュラーティー(青)】

グランドシニア・男子 70 歳以上レギュラーティー (白) を選択可

グランドシニア・女子 60 歳以上レディースティー (赤) を選択可

特別ローカルルール

スコアカードを使用せず、プレーヤーのスコアは乗用カートに搭載されているカートナビにスコアを入力すること。ラウンド終了後、速やかにカートナビに入力したスコアを各自確認、登録すること。なおカートを離れた時点で競技委員にスコアを提出しことになる。

ローカルルール

- 1.アウトオブバウンスの境界は白杭をもって表示する。
- 2.修理地は青杭を立て、白線で囲まれた区域とする。
- 3.コース内の池は全てペナルティエリアとし、その境界は赤杭をもって標示する。
- 4.ペナルティエリア以外で OB や紛失球となった場合 2 罰打を加え次の処置をしなければならない。

【OB となった場所、紛失したと思われる場所 A 地点からホールに近づかないラフと フェアウェイの境界点 B 地点を決め、一方はホールと A 地点を結ぶ線、もう一つはホールと B 地点を結ぶ線を定め救済エリアはその線上両サイド 2 クラブレンジスの範囲でその区域内にホールに近づかない地点にドロップすること】

- 5.7番、8番ホールにてティーショットの球がペナルティエリアに入った場合、1罰打を付加しドロップエリアよりプレーしなければならない。
- 6.13番ホールにてOBの場合は2罰打を付加しドロップエリアよりプレーしなければならない。
- 7.10番ホール、14番ホールにてティーショットがOBや紛失球となった場合、2罰打を付加し特設ティー線上からホールに近づかない地点に2クラブレンジス以内にドロップすること。
- 8.16番ホールのティーショットが手前のペナルティエリアに入った場合1罰打を付加してドロップエリアよりプレーしなければならない。
- 9.救済処置がドロップエリアに限定されていないペナルティエリア付近で球が確認できない場合は、マーカールの同意に基づきペナルティエリアの境界を越えたものとしペナルティエリアの救済を受けることができる。
- 10.ジェネラルエリアにある全ての枕木、バンカー内の枕木は動かさない障害物として扱うものとする。
- 11.競技中ルールに疑義が生じた場合は、その地点より2ボールにてプレーしホールアウト後競技委員に裁定を仰ぐものとする。

注意事項

- 1.スタート時刻 5 分前に 1 番ホールにあるスタートハウスに集合し競技説明を受けなければならない。5 分前に集合できなかつた場合は競技失格とする。
- 2.スロープレーに十分留意し、前の組との間隔を不当に開けないようにすること。
競技委員の計測によって前の組との間隔が 15 分以上開いていることが確認できた場合、その該当する組の全てのプレーヤーに 2 罰打を科すこととする。(計測方法は前の組の最終カップインから該当の組の最終カップインまでとする。)
- 3.過去 3 ヶ月以内に複数回スロープレーによる罰を受けたプレーヤーは競技委員の判断により次月から起算し 3 か月間のクラブ内競技への参加を停止することができるものとする。
- 4.全ての計測機器レーザー測定器・GPS 測定器などの使用を認めるがグリーンの傾斜などを測定できる機器の使用は禁止する。
- 5.A・B・C クラス分け大会はハンデキャップ順に組合せを行うものとする。
- 6.競技に使用するハンデキャップは月例競技参加該当月の 1 日時点のハンデキャップをもとにクラブハンデキャップを算定し使用するものとする。
- 7.競技委員会は、荒天やコースの状況により適正なプレーが不可能と判断した時点で中止・サスペンデット・ホール数の減少を行うことができるものとする。
- 8.競技の終了はワンウェイゴルフクラブホームページ内の競技結果が公表されたときに最終とする。

行動規則

- 1.携帯電話・スマートフォンは緊急時を除き周囲のプレーヤーの迷惑になる使用は避けること。
- 2.プレーファーストを心掛け、旗竿を立てたままプレーすること、ホールまでの残り距離にかかわらず安全を十分考慮し準備のできたプレーヤーからストロークすることを推奨する。

ワンウェイゴルフクラブ
競委員会委員長
上田浩二